

2023.2.4 (土) 13:30～15:00 茨城大学図書館 土曜アカデミー

江戸時代の古文書を読もう！～茨城大学図書館所蔵文書をテキストに～

千葉真由美

はじめに

1. 茨城大学図書館所蔵 稲葉家文書

- ・近世の下総国豊田郡加養村（現下妻市）で名主を務めた稲葉家の文書。
- ・稲葉家は近世後期、江連用水の再興運動の中心的役割を果たした家。
- ・近世～近代を中心に約 9,000 点。
- ・用水再興関係史料、加養村村方史料、稲葉家の諸経営関係史料など多岐。

2. 古文書解読の基礎

- ・ 候文
候（そうろう）、御座候（ござそうろう）、候得共（そうらえども）…
- ・ 上に返ってよむ文字
被（る・らる）、可（べし）、為（せ・させ・たる）、令（しむ・せしむ）、
奉（たてまつる）、不（ず）、乍（ながら）、無（なし）、以（もって）…
- ・ 文章を整える文字
相（あい）、御（ご・お・おん）、罷（まかり）…
- ・ 助詞に使用される変体仮名
者（は）、江（え）、茂（も）、与（と）、而（て）、之（の）…

3. 嘉永4年「五人組御改メ帳」について

- ・ 明暦3年（1657）正月の幕府からの触書
- ・ 五人組帳の作成と提出

おわりに

<参考資料など>

茨城大学附属図書館編集・発行『茨城大学附属図書館蔵稲葉家文書目録』（一）～（五）、1984～1988年）／高柳眞三・石井良助編『御触書寛保集成』（岩波書店、1934年）／林英夫監修『近世古文書解読字典』（柏書房）／児玉幸多編『くずし字用例辞典』（東京堂出版）／千葉真由美「江戸の印判師と印の流通—下総国・常陸国の村々の事例から—」（『茨城大学教育学部紀要（人文・社会科学、芸術）』69号、2020年）／千葉真由美「江戸の公事宿と村—下総屋文蔵と下総国豊田郡加養村稲葉家の事例から—」（『茨城大学教育学部紀要（人文・社会科学、芸術）』72号、2023年予定）